

鐘撞堂山山行報告

【山行日】2019年4月11(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、大西、大庭、関、関口、福島

【コースタイム】岩舟支所 P7:00 = 八幡神社
P9:05/9:15 ~ 八幡山 9:35 ~ 鐘撞堂山 10:25/10:40
~ 八幡神社 P11:40/11:50 = 今井屋 12:00/12:40
= 肉の峰岸 12:50/13:00 = 道の駅「はなぞの」
13:15/13:40 = 岩舟支所 P14:55



先週の山はO庭さんには少しきつかった様なので、今週は楽な鐘撞堂山に登りソースカツ丼をいただく計画にした。岩舟支所を7時に出発したが、通勤渋滞につかまり出発が大幅に遅れてしまっ



た。八幡神社の駐車場に着くと桜が満開で、桜の下でストレッチを済ませ出発する。神社の脇から八幡山への登山道に取りつき、雑木林の中露岩交じりの急坂を登る。ほどなく傾斜が緩くなり、2つ目のピークが八幡山だ。小休止し、衣服調整して水分を保給する。ここからは快適な尾根歩きが続き、芽吹いたばかりの新緑やヤマツツジの花がとても美しい。鞍部で大正池への道を左に分け、照葉樹のピークで右に曲がって進む。新緑の中に山桜の薄いピンクが混じり、この

時季ならではの季節感を味わうことが出来る。ピークは直登の木の階段の道と、巻道に登るコースがあり登りは巻道からの登山道を進む。やがて伐採地に出ると八幡山や鐘撞堂山が望め、鐘撞堂山山頂の桜と展望台が見え元気が出る。南側が開け寄居の街並みを見ながらトラバース気味に登り、最後は急坂をほんの少し頑張ると尾根に上がり、目の前に山頂の展望台が現れた。O嬢が頑張って皆さんを引っ張り、いつもより早いペースで後れを取り戻した。展望台脇の桜が一番見事で、丁度満開の桜は見応えがある。展望台に上がると桜が間近に見られ、皆さん嬉しそうに写真に収めていた。展望台で桜をバックに記念写真を撮ったら下に降り、東屋で休憩を取りデコポンやバームクーヘンをいただく。鐘撞堂山は鉢形城の物見の山で、周辺に異変が起こると鐘を撞いて知らせたと言う。山頂に鐘が残っており、その鐘を皆さんが代わる代わる撞いていた。鐘の前で記念写真を撮ったら下山する。



下山は往路を戻るが、下りは登りで使わなかった木の階段の登山道を降りる。天気が良く気温が上



がり、新緑も心なしか濃くなりツツジの花も開いたように感じる。「こういう芽吹いたばかりの自然林は、歩いていても気持ちが良いね〜」とルンルン気分を下り、アツと言う間に八幡神社に着いた。靴を履き替えたら今日の二つ目のお楽しみ、今井屋のソースカツ丼を食べに寄居駅前に向かう。今井屋さんに着くと、いつもの奥の部屋に通され、ソースカツ丼とお酒を注文する。お話ししているうちにお酒とおしんこが届き、渴いた

のどを潤してくれる。おしんこは女性の方達も食べたそうなので、「どうぞ」と言うと「待ってました〜」と口に入れる。ほどなくソースカツ丼が届き、「美味しいね〜」と言いながら食べ始める。「こんな大盛りじゃ食べられない」と言っていたが、ほとんど完食していた。お腹が満たされたらお買い物で、車に乗って肉の峰岸に向かった。今日は木曜日なのでレバーは無いが、名物の肉の味噌漬けやホルモン等を買って道の駅に向かう。お買い物第2弾は道の駅「はなぞの」で、野菜や野菜の苗、お花等を購入し帰路につく。帰りは渋滞も無くスムーズに走り、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

